

## 所 信 表 明

令和6年第2回長与町議会定例会の開会に当たり、所信表明の機会をいただき、誠にありがとうございます。このたびの長与町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ、各方面からの温かいご支援とご厚情を賜り、引き続き町政の舵取り役をさせていただくことになりました。

4期目を迎え、改めて、課せられた使命の大きさと職責の重さに身が引き締まる思いであり、皆様からお寄せいただきました信頼とご期待にお応えできるよう、町政発展のために全力を尽くしてまいり所存でございます。

さて、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、あらゆる活動が大きく制限されておりましたが、昨年あたりからようやく落ち着きを見せ、私たちの日常生活も以前の状態に戻ってまいりました。そのような中、株価の上昇や多くの企業で賃上げの動きが加速するなど、経済の動きが見られるようになりましたが、国際情勢の影響等もあり賃金の上昇が物価上昇に追いつけず、私たちの生活は、依然として厳しい状況が続いております。世の中が大きな転換期を迎えている中で、今回4期目の職務を果たしていく訳ですが、健全な財政運営を堅持しつつ、多様化する住民ニーズや刻々と変化する社会情勢を踏まえ、短期的あるいは中長期的な視点で総合的に判断しながら様々な課題解決に取り組んでまいりたいと考えております。

それでは4期目の町政運営につきまして、私の基本的な考え方を述べさせていただきます。議員各位をはじめ、広く町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

平成24年5月の町長就任以来、これまで3期12年、私は町民の皆様方との対話を大切にしながら「幸福度日本一の長与町」を目指し、走り続けてまいりました。特に、町長就任以来実施しております、町長との「ほっとミーティング」や「まちづくり提案箱」につきましては、長与町をより良くするためのまちづくりのアイデアを様々な視点から気づかせて頂いておりますので、今後もこれらの取り組みを継続しつつ、これまで同様あらゆる機会をとらえ町民の皆様のご貴重なお意見をお聞きしながら、様々な課題に対し、ひとつひとつ丁寧に取り組ん

でまいりたいと考えております。

このような取り組みを通して、私は、町政運営を2つの視点からアプローチしてまいりました。まず、1つ目の視点といたしまして、ソフト面でございますが、「子育て」「教育」「健康づくり」に「遊び心」を取り入れた施策を展開してきたところです。「子育て」につきましては、小中学生の福祉医療費の現物給付化や病児保育事業における対象年齢の拡充など、子育てし易い環境づくりに取り組ませていただいております。今後は、令和6年度からすべての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的相談機関としまして、こども政策課内に設置いたしました、「こども家庭センター」をはじめ、子育て家庭の意見を集約し今後策定する「第3期長与町子ども・子育て支援事業計画」などを通して、これまで以上に安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりに努めてまいります。

「教育」につきましては、「特別支援教育の充実」や「ふるさとキャリア教育の推進」、「部活動の地域移行」など様々な取り組みを行ないながら、ひとりひとりの能力や実態に応じたきめ細かな教育を進めております。引き続き、学校、家庭、地域住民の皆様と力を合わせ、教育環境の更なる充実を目指し、子どもたちの健やかな成長を育ててまいります。「健康」につきましては、「健康ポイント事業」や「ヘルシーウォーキング事業」など「遊び心」を取り入れて、町民の皆様が楽しみながら参加できる仕掛けを展開してまいりました。これらの事業に参加する事で、日頃の食事に気をつけたり、健康診断を受診したり、健康を意識してあらゆる面で積極的に取り組んで頂く姿が多く見られるようになりました。おかげさまで、令和4年度には、体力づくり優秀組織として「文部科学大臣賞」を受賞。令和5年度には、長崎県版健康寿命の評価指標におきまして、県内全自治体の中で、最も優秀な自治体として「ヘルシータウン賞」を受賞いたしております。これらの賞を受賞できたことは、これまで町が取り組んでまいりました様々な健康事業に対する町民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、町民の皆様への健康に対する意識の高さを物語っている結果だと考えております。引き続き関係各位と協力し、楽しみながら参加できる仕掛けを考え、さらなる健康寿命の延伸に努めてまいりたいと考えております。

この他にも、それぞれの分野で様々な取り組みを行ってまいりましたが、これ

まで積み重ねてきたものを大切にしつつ、これからの4年間におきましても、「子育て」「教育」「健康づくり」に「遊び心」を加えたものを柱といたしまして、町民の皆様をはじめ、大学や民間企業の皆様とも連携を図り、この柱にさらに磨きをかけて、進化させてまいりたいと考えております。

2つ目の視点といたしましては、ハード面でございますが、現在進行中の「高田南土地地区画整理事業」、「都市計画道路 西高田線」、「一般国道207号」、「図書館と健康センターの複合施設」の整備などがございます。「高田南土地地区画整理事業」につきましては、令和7年3月末に造成工事の完成を予定しております。これは、新幹線の開業で長崎駅周辺が再開発され、浦上駅周辺では、ジャパネットホールディングスによる長崎スタジアムシティが、今年秋開業を予定するなど、人が集まる条件がそろった中での高田南の立地といたしましては、浦上駅からJRで10分足らずの場所に位置しており、長与町に住んでもらうための器として、非常に期待できる場所になるものと考えております。

また、「都市計画道路 西高田線」につきましても、令和9年3月の完成を目指し着実に事業を進めるとともに、県の方で整備して頂いております「一般国道207号」につきましても、令和5年度より交付金事業の採択を受けた部分につきましては、事業に着手して頂いております。残りの未着手区間、約3.3キロメートルにつきましては、引き続き近隣自治体とも連携し、早期完成を国・県に要請してまいりたいと考えております。そして、新たな交流やにぎわいの創出づくりの拠点となる「図書館と健康センターの複合施設」につきましては、令和6年度中に建設工事に着手し、令和9年4月のオープンに向けて一歩ずつ歩みを進めてまいります。

その他、新たな取り組みといたしまして、ソフト面では、更なる教育環境の充実を目指し、「小学校・中学校の9年間を通した義務教育のあり方」について検討するとともに、ハード面では、安定した水源確保と施設整備や運営にかかるコストの削減を図るため長崎市との「新浄水場共同整備事業」を進め、あわせて、岡地区での新たな農地基盤整備により、高付加価値の柑橘栽培にも着手してまいりたいと考えております。

以上、4期目のスタートにあたりまして、私の町政に対する所信の一端を申し

上げましたが、今後とも、「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と思っ  
ていただけるよう「100年安心の街づくり」に取り組み、「幸福度日本一の長与  
町」の実現を目指し、職員と力を合わせ邁進してまいりたいと思います。議会を  
初め、町民の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお  
願い申し上げ、4期目の町政運営に臨む所信表明といたします。